



山口県立山口博物館だより

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



2018年12月号

◎●◎ テーマ展 寄贈された動物資料 絶賛開催中！ ○●◎



12月14日(金)から、「テーマ展 寄贈された動物資料」が本館3Fで開催されています。貝(400種1000点)、蝶(200種1500点)、を中心に、全3000点の展示があります。今回は、その見所を紹介します。

めずらしい貝の展示がたくさん



世の中で一番種類の多い動物は「昆虫」ですが、その次に多いのは何か知っていますか？実は貝などの「軟体動物」で、なんと10万種類もあるそうです。その中でもとてもめずらしい貝『オキナエビス』や『シンセイダカラ』なども展示してあります。ずらりと並ぶ貝は見ごたえがあります。

日本の蝶がチョウたくさん！

日本で見られる蝶の種類は約270種ですが、そのうち約200種が展示してあります。山口県が生息の最西端で、絶滅危惧ⅠA類(ごく近い将来絶滅してしまう可能性が極めて高い)に指定されている『ギフチョウ』など、普段なかなか見ることができない蝶もたくさんあります。その美しい姿にうっとりしてしまうことまちがいありません。



迫力たっぷりのはくせい



ヘラジカ

会場でひときわ目を引くのは大きな『ヘラジカ』のはくせいです。全長3mにもなる世界で一番大きいシカは、頭部だけでもかなり大きく（下に置いてある日本のシカの角と比べてみてください）、迫力満点です。



オオフウチョウ

また、「天国から来た鳥」と言われる『オオフウチョウ（ニューギニア原産）』も見ることができます。現在ではワシントン条約で取引が禁止されていて、普段なかなか目にすることができない珍しい鳥です。

来年の干支はイノシシ

来年の干支は亥（いのしし）です。もう年賀状はつくりましたか？今回、めずらしいアルビノ（生まれながらにして色素がない）の白いイノシシが展示されています。かわいい？イノシシたちと一緒に写真を撮って、年賀状にしてみたいはいかがでしょう。今回の展示は、全点撮影OKです！



わかりやすい解説も数多くあり、読むだけで勉強になります。入館料は、常設展と同じく18歳までは無料、大人の方は150円です。寒い日も、博物館の中はぬくぬくです。この冬、ぜひ博物館に足をお運びください！

◆ 1月の行事予定（詳細・申込みは博物館ホームページへどうぞ）

「日食を見る会」

内容：34%欠ける部分日食を、日食メガネや太陽望遠鏡で観望します。

日時：1月6日(日) 8:20~11:00

場所：当館（天体観測室）

対象：一般（自由参加、雨天・曇天中止）



アクセスはこちら

県立山口博物館
ホームズ (QRコード)



詳しくは山口博物館のホームページ（博物館ガイド、学習の手引き）を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>

博物館学校地域
連携教育支援事業
For School

博物館と学校・地域が
連携しながら教育を推進し、
広く一般市民の利用を
促進します。

学校関係者はこちらから▶

山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2
TEL 083-922-0294
FAX 083-922-0353